MA2306-A © 2023 CASIO COMPUTER CO., LTD.

CASIO

取扱説明書

ウオッチ

3558＊JA

このたびは、本機をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
ご使用の前に本書の「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。

安全上のご注意

絵表示について

本書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、色々な絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

⚠危険 死亡または重傷を負う可能性が大きい内容を示しています。

⚠警告 死亡または重傷を負う可能性がある内容を示しています。

⚠注意 軽傷を負う可能性および物的損害が発生する可能性がある内容を示しています。

絵表示の例

分解禁止

⃠記号は「してはいけないこと」を意味しています(左の例は分解禁止)。

△記号は「気をつけるべきこと」を意味しています。

●記号は「しなければならないこと」を意味しています。

⚠危険

電池について

ボタン電池を取り外した場合は、電池を誤飲しない、させない。特に乳幼児の手が届く所に電池を置かない。

電池を飲み込んだ場合、または飲み込んだ恐れがある場合は、直ちに医師と相談してください。電池を飲み込むと、短時間で化学やけどや粘膜組織の貫通などを引き起こし、死亡事故の原因になります。

⚠警告

スクーバダイビングに使用しない

本機をスクーバダイビングに使用しない。

本機はダイバーズウオッチではありません。誤って使用すると、事故の原因となります。

分解・改造しない

分解禁止

本機を分解・改造しない。

けがの原因となります。

⚠注意

お手入れについて

ケース・バンドは常に清潔にして使う。
ケース・バンドは汚れからさびが発生し、衣服の袖口を汚すことがあります。特に、海水に浸した後、放置するとさびやすくなります。

かぶれについて

時計の本体およびバンドは、直接肌に接触しています。使用状態によってはかぶれを起こす恐れがあります。

1. 金属・皮革に対するアレルギー
2. 時計の本体およびバンドの汚れ・さび・汗など
3. 体調不良など

バンドは余裕を持たせて使用する。
きつくしめると、汗をかきやすく、空気の通りが悪くなり、かぶれを起こす恐れがあります。

「抗菌防臭バンド」は細菌の繁殖とにおいの発生を抑えます。皮膚のかぶれを防ぐものではありません。

かぶれなど、異常が生じた場合は、ご使用を中止し、医師にご相談ください。

ときどき時計を外して手首を休ませる。
お客様のご使用いただく環境(長時間の装着や汗をかいた場合など)によっては、皮膚(肌)に負担がかかる場合があります。皮膚障害を防ぐため定期的に製品の装着をやめ、皮膚(肌)を休ませてください。

ご使用にあたって

時計の表示は、安全な場所で確認する。
思わぬ転倒や、けが、事故の原因となることがあります。特に、道路でのマラソンやジョギング、自転車やバイク・自動車などの運転中はご注意ください。また、第三者への接触による事故防止にもご注意ください。

時計の着脱に注意する。
バンドの中留で爪を傷つける恐れがあります。特に、長く伸ばした爪では、中留の操作はおやめください。

小さなお子様と接するときは、時計を外す。
お子様のけがやアレルギーによるかぶれの原因となることがあります。

電池消耗で時計が止まった場合は、速やかに電池を交換する。
電池の液漏れによる周囲の汚損の原因となることがあります。

時計本体(裏ぶたを含む)やバンドに製品保護シールが付いている場合は、ご使用になる前に必ずはがす。
シールをはがさずにご使用になると、「時計本体やバンド」と「シール」との隙間に汚れが付着し、さびやかぶれの原因となることがあります。

この時計の特長

◆計算機として使えます

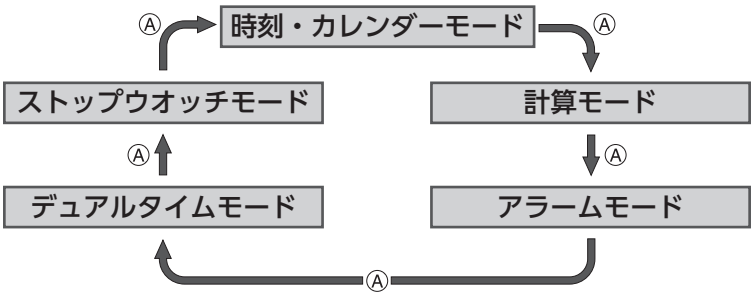
◆アラームを設定できます

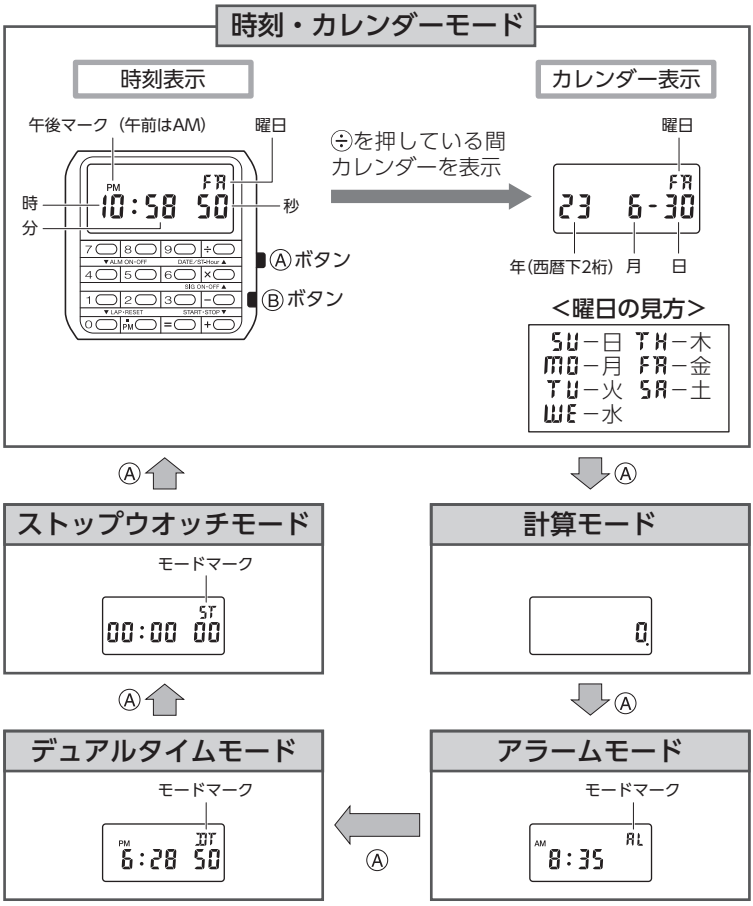
◆デュアルタイムがわかります

◆ストップウオッチとして使えます

操作のしくみと表示の見方

Ⓐを押すたびに以下の順でモードが切り替わります。
- 各モードで操作した後、Ⓐを押すと直接時刻・カレンダーモードに戻ります。
- 詳しくは各機能の項目をご覧ください。





■12/24時間制表示切り替え

時刻表示のとき、Ⓑを押すと“秒”が点滅します。このとき⊕を押すたびに12時間制表示（AM/PM）と24時間制表示とが切り替わります。切り替えが終わったら、Ⓑを押します。

時刻・カレンダーの合わせ方…操作のしくみにしたがってⒶボタンを押し、時刻・カレンダーモードにします。

■秒の合わせ方…30秒以内の遅れ進みの修正

(1) 時刻・カレンダーモードのとき、Ⓑを押すと“秒”が点滅します。

(2) 時報に合わせてⓄを押すと00秒からスタートします。

秒が00～29のときは切り捨てられ、30～59のときは1分くり上がって00秒からスタートします。

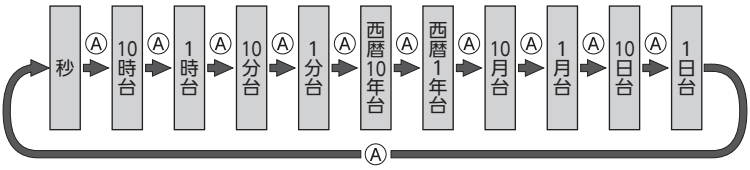
(3) Ⓑを押すと点滅が止まります。

時刻・カレンダーモード

■「時」「分」、カレンダーの合わせ方

(1) 時刻・カレンダーモードのとき、Ⓑを押すと“秒”が点滅します。

(2) Ⓐを押すたびに点滅箇所が以下の順で移動します。
- 押し続けると早送りができます。



(3) Ⓐを押して修正箇所を点滅させ、合わせたい「時」「分」「西暦」「月」「日」を置数ボタンで入力します(入力すれば点滅箇所は自動的に移動します)。

(4) 合わせ終わったら、Ⓑを押すと点滅が止まります。

[例] 2023年11月8日午後10時6分に合わせる

操　作	表　示
Ⓐを押して時刻・カレンダーモードにする	AM 10:58 FR 50
Ⓑを押す	AM 10:58 50
Ⓐを押す	AM 10 58 50
午後指定　Ⓟ	PM 10 58 50
時刻・カレンダーを入力　1006231108	PM 10:06 40
セット完了　Ⓑを押す	PM 10:06 WE 40

●入力をまちがえたときは、Ⓐを押して修正箇所を点滅させ、入力し直します。
●修正前に24時間制表示にしていたときは、24時間制で時刻をセットします。
●カレンダーは月末およびうるう年を自動判別するフルオートカレンダーですので、一度セットすれば電池交換以外は修正する必要はありません。
- 1980年1月1日～2079年12月31日までセットできます。

●鳴っている電子ブザーを止めるには、いずれかのボタンを押します。

●他モードへの切り替え
ストップウオッチなど、ある機能を使用中に他のモードにしても、その機能には一切影響ありません。ただし、ストップウオッチで、ラップ計測時(LA点灯)にこの操作をすると、ラップは解除されます。

●自動復帰機能
計算後何も操作しなかった場合、またはアラーム時刻などのセットで表示を点滅させたままにした場合、3～4分後、自動的に時刻・カレンダーモードに戻ります。

●計算モードでの操作確認音オン/オフは、どのモードでも有効です。確認音を消しておくと、時刻合わせなどでも操作確認音は出ません。ただし、アラーム機能やストップウオッチ操作確認音には影響はありません。

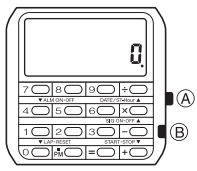
計算機能の使い方…

操作のしくみにしたがってⒶボタンを押し、計算モードにします。

計算は置数、答えとも8桁（負数は7桁）で数式通りに操作できます。また、⊕、⊖、⊗、⊘の各ボタンを押すと✚、▬、✖、➗が表示され、計算過程が確認できます。

- 置数ボタンの操作確認音がついています。この確認音はⒷを押すたびにオン（ピッ）/オフになりますので、必要に応じて使いわけてください。オンにしておくと、計算をしたり、モードを切り替えたときに確認音が出ます。

計算モード



例　題	操　作	表　示
12.3＋74－90＝－3.7	12㊚3⊕74⊖90⊜	－3.7
(12－0.5)×3÷7＝4.9285714…	12⊖㊚5⊗3⊘7⊜	4.9285714

定数計算… 置数のあとに⊕、⊖、⊗、⊘を2度押すと、その数が定数としてセットされ（Kを表示）、同じ数を足したり、引いたり、掛けたり、割ったりする計算が簡単にできます。

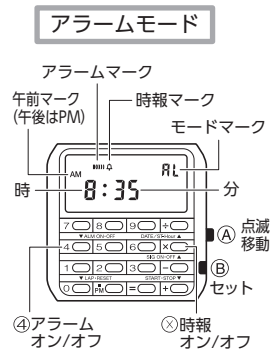
例　題	操　作	表　示
10＋7＝17 12＋7＝19	7⊕⊕10⊜ 12⊜	K ✚ 17. K ✚ 19.
78－12＝66 45－12＝33	12⊖⊖78⊜ 45⊜	K ▬ 66. K ▬ 33.
2.3×45＝103.5 5.1×45＝229.5	45⊗⊗2㊚3⊜ 5㊚1⊜	K ✖ 103.5 K ✖ 229.5
78÷9.6＝8.125 1.2÷9.6＝0.125	9㊚6⊘⊘78⊜ 1㊚2⊜	K ➗ 8.125 K ➗ 0.125
• 引き算、割り算では「引かれる数」、「割られる数」の定数セットはできません。		

訂正のしかた… 計算途中の数字を押しまちがえたときは、Ⓐを押してから正しい数字を押し直せば、そのまま計算できます。また、⊕、⊖、⊗、⊘を押しまちがえたときは、続けて正しく押し直します。桁オーバーになると最下桁に“E”を表示し、小数点は「億の位」を示します。“E”表示後計算を続けるときはⒶを1度、新たな計算を始めるときはⒶを2度押します。

アラームの使い方…

操作のしくみにしたがって Ⓐ ボタンを押し、アラームモードにします。

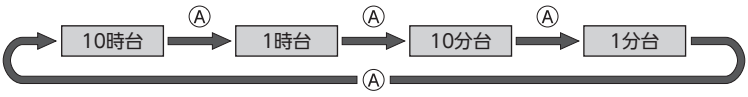
アラーム機能には時刻アラームと時報があります。時刻アラームは分単位で任意の時刻をセットでき、セット時刻になると20秒間電子ブザーが鳴ります。
時報は毎正時 (00分のとき) に“ピッピッ”と電子ブザーが鳴ります。



■ セットのしかた

(1) アラームモードのとき、Ⓑ を押すと“時”が点滅します。
(2) セットする時刻 (時・分) を入力し、Ⓑ を押します。

- Ⓐ を押すたびに点滅箇所が移動しますので、セットしたい箇所のみを選択することもできます。



[例] 午後9時5分にセットする

操　作	表　示
Ⓐ を押し、アラームモードにする	AM 8:35 AL
Ⓑ を押す	AM 08:35 AL
時刻を入力　　0905	AM 09:05 AL
午後指定(午後の場合のみ)　　Ⓟ	PM 09:05 AL
セット　　Ⓑ を押す	PM 9:05 AL

- 入力をまちがえたときは、Ⓐ を押して修正箇所を点滅させ、新たに入力し直します。
- 時刻表示を24時間制表示にしているときは、24時間制でアラーム時刻をセットします。

● アラームのオン/オフ

アラームモードのとき、④を押すたびにアラームマーク“ ”がついたり消えたりします。アラームを鳴らさないときはアラームマークを消しておきます。

● 時報のオン/オフ

アラームモードのとき、Ⓧを押すたびに時報マーク“ ”がついたり消えたりします。時報を鳴らさないときは時報マークを消しておきます。

● モニターアラーム

アラームモードのとき、⊕とⓄを同時に押し続けると電子ブザーが鳴ります。

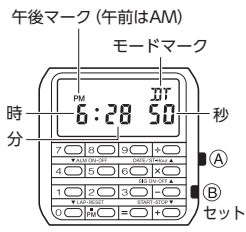
デュアルタイムの使い方…

操作のしくみにしたがって Ⓐ ボタンを押し、デュアルタイムモードにします。

デュアルタイムは、時刻表示（時刻・カレンダーモード）とは別に海外時刻などもう1つの時刻をセットできる機能です。

- 「秒」、「12/24時間制」は時刻表示と連動しています。

デュアルタイムモード

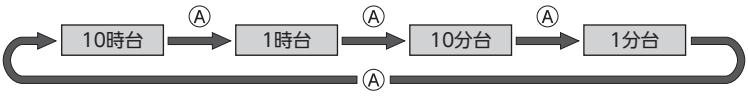


■ セットのしかた

(1) デュアルタイムモードのとき、Ⓑを押すと“時”（10時台）が点滅します。

(2) セットする時刻（時・分）を入力し、Ⓑを押します。

- Ⓐを押すたびに点滅箇所が移動しますので、セットしたい箇所のみを選択することもできます。



［例］午前4時28分にセットする

操　作	表　示
Ⓐを押してデュアルタイムモードにする	PM 6:28　DT 50
Ⓑを押す	PM 06:28　DT 50
時刻を入力　　0428	PM 04:28　DT 40
午前指定（PMが点灯している場合のみ）　Ⓟ	AM 04:28　DT 40
セット　　Ⓑを押す	AM 4:28　DT 40

- 入力をまちがえたときは、Ⓐを押して修正箇所を点滅させ、入力し直します。
- 時刻表示を24時間制表示にしているときは、24時間制で時刻をセットします。

ストップウオッチの使い方…

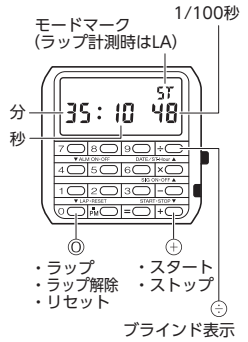
操作のしくみにしたがって Ⓐ ボタンを押し、ストップウオッチモードにします。

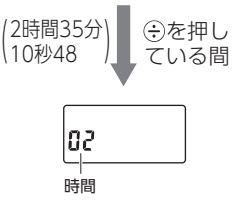
ストップウオッチは1/100秒単位で、23時間59分59秒99まで計測できます。

ブラインド表示…計測時間が60分を超えると、÷を押している間「時間」が表示されます。

計測のしかた…＋、Ⓞを押すたびに操作確認音が鳴ります。

ストップウオッチモード





● 通常の計測

＋ → ＋ → Ⓞ
スタート　ストップ　リセット

積算計測…ストップ後リセットせずに、再スタートさせます。

● ラップタイム(途中経過時間)の計測

＋ → Ⓞ → Ⓞ → ＋ → Ⓞ
スタート　ラップ計測　ラップ解除　ストップ　リセット

● 1・2着のタイム計測

＋ → Ⓞ → ＋ → Ⓞ → Ⓞ
スタート　1着がゴール(1着タイム表示)　2着がゴール　2着タイム表示　リセット

経過時間報知機能

ストップウオッチモードで計測中は、10分経過するごとに、電子ブザーが“ピッ”と鳴ります。

製品仕様

精　　度：平均月差±30秒

基本機能：時刻表示　時・分・秒・午前／午後・曜日
カレンダー表示　年・月・日・曜日(年は西暦年の下2桁)

計算機能：8桁、加減乗除、四則定数計算、計算状態表示、エラーチェック機能

アラーム機能：時刻アラーム　セット単位　分、電子ブザー　20秒間
時報　毎正時に電子ブザーで報時

セット機能：時刻・カレンダーセット機能、秒合わせ機能、アラームセット機能

デュアルタイム機能：表示内容　時・分・秒

ストップウオッチ機能：計測単位　1/100秒
計測範囲　23時間59分59秒99(24時間計)
計測機能　通常計測、積算計測、ラップ計測、1・2着同時計測
経過時間報知機能　経過時間が10分ごとに電子ブザーで報知

そ　の　他：12/24時間制表示切り替え、モニターアラーム、自動復帰機能

使用電池：CR2016　1個(電池別途販売)

電池寿命：約5年 (1日当りアラームを20秒、計算機能を1時間使用のとき)

改良などのため、仕様は予告なく変更されることがあります。

ご使用上の注意

■防水性

● 防水時計は時計の表面または裏ぶたに「WATER RESIST」または「WATER RESISTANT」と表示されているもので、次のように分類されます。

		日常生活用防水	日常生活用強化防水		
			5気圧防水	10気圧防水	20気圧防水
表示	時計の表面または裏ぶたに表記	「BAR」表記無し	5BAR	10BAR	20BAR
使用例	洗顔、雨	○	○	○	○
	水仕事、水泳	×	○	○	○
	ウインドサーフィン	×	×	○	○
	スキンダイビング（素潜り）	×	×	○	○

- 専門的な潜水＝スクーバダイビング（空気ボンベ使用）でのご使用はお避けください。

● 時計の表面または裏ぶたに「WATER RESIST」または「WATER RESISTANT」と表示されていないものは防汗構造になっておりませんので、多量の汗を発する場合、もしくは湿気の多い場所でのご使用や直接水に触れるようなご使用はお避けください。

● 防水構造の機種でも、以下のご使用はお避けください。
防水性能の低下や、ガラスの内側が曇る原因になります。
- 「水中で」および「時計に水分がついた状態で」りゅうずやボタンを操作すること
- 入浴のときに使用すること
- 温水プールやサウナなどの高温多湿な環境で使用すること
- 時計を手につけたまま手洗い／洗顔／家事などをするときに、石鹸や洗剤を使うこと

● 海水に浸したときは真水で洗い、塩分や汚れを拭き取ってください。

● 防水性を保つために定期的（2～3年を目安）なパッキン交換をおすすめします。

● 電池交換の際、防水検査を行いますので、必ず「修理お申込み先」またはお買い上げの販売店にお申し付けください（特殊な工具を必要とします）。

● 防水時計の一部にデザイン上、皮革バンドを使用しているモデルがありますが、皮革バンド付の状態で、水仕事・水泳など直接水のかかるご使用はお避けください。

● 時計が急冷された場合など、ガラスの内側が曇ることがありますが、すぐに曇りが無くなるようであれば特に問題はありません。夏季に高温の室外から室内に入りエアコンの吹き出し口付近で冷気にさらされたり、冬季に暖かい室内から出て屋外の冷気や雪に触れた場合など、外気と時計内部の温度差が大きくなることによって曇る時間が長くなることがあります。
なお、曇りが消えなかったり、時計内部に水が残っている場合は、ただちにご使用をやめて、修理を「修理お申込み先」またはお買い上げの販売店にお申し付けください。

■バンド

● バンドをきつくしめると、汗をかきやすくなり、空気の通りが悪くなりますのでかぶれ易くなります。バンドは指一本が入る程度の余裕をもたせてご使用ください。

● バンドは、劣化やさびなどにより、切れたり外れたりすること、接合部のピンが飛び出したり抜け落ちたりすることがあります。これらは、時計の落下や紛失、けがの原因となります。バンドは常にお手入れをして清潔な状態でご使用ください。

● バンドに弾力性がなくなる、ひび割れ、変色、緩み、接合部のピンの飛び出しや抜け落ちなどの異常がある場合は、ご使用をやめてください。点検・修理（有償）や新しいバンドとの交換を、「修理お申込み先」またはお買い上げの販売店にお申し付けください。

■温度

● 自動車のダッシュボードや暖房器具の近く等の高温になる場所に放置しないでください。また、寒い所に長く放置しないでください。遅れ、進みが生じたり、止まったり、故障の原因となります。

● ＋60℃以上の所に長時間放置すると液晶パネルに支障をきたすことがありますのでご注意ください。液晶表示は、0℃以下や＋40℃以上では、表示が見えにくくなることがあります。

■ショック

● 通常の使用状態でのショックや軽い運動（キャッチボール、テニスなど）には十分耐えますが、落としたり、強くぶつけたりすると、故障の原因になります。
ただし、耐衝撃構造の時計の場合（G-SHOCK/BABY-G/G-MS）は腕につけたままでチェーンソーなどの強い振動や、激しいスポーツ（モトクロスなど）でのショックを受けても時計には影響ありません。

■磁気

● 通常、磁気の影響はありませんが、極度に強い磁気（医療機器など）は誤動作や電子部品を破損する恐れがありますのでお避けください。

■静電気

● 静電気により誤った時刻を表示したりします。また、極度に強い静電気は、電子部品を破損する恐れがあります。

● 静電気により、一時的に液晶の点灯していない部分ににじみ現象が発生することがあります。

■薬品類

● シンナー、ガソリン、各種溶剤、油脂またはそれらを含有しているクリーナー、接着剤、塗料、薬剤、化粧品類等が付着すると、樹脂ケース、樹脂バンド、皮革などに変色や破損を生ずることがありますのでご注意ください。

■保管

● 長期間ご利用にならないときは汚れ、汗、水分などを拭き取り、高温、多湿の場所を避けて保管してください。

■樹脂部品について

● 長時間、他の製品と密着させたり、濡れたまま他の製品と一緒にしておくと、他の製品に色が移行したり、他の製品の色が樹脂部品に移行したりすることがありますので、濡れているときはすぐに水分を拭き取り、他の製品に密着させたままにしないでください。

● 長時間、直射日光（紫外線）に当てたり、汚れが付着したまま放置すると色あせする場合があります。

● 塗装部品は、使用状況（過度の外力、連続したこすれ、衝撃等）により磨耗し色落ちしたりすることがあります。

● バンドにプリントがしてある場合は、プリント部分を強くこすると他の部分に色がつくことがあります。

● 蛍光商品は、長時間濡れたままにしておくと色が落ちる恐れがありますので、濡れているときはすぐに水分を拭き取って、乾かしてください。

● スケルトン（透明）仕様の部品は、汗や汚れ等の吸収や高温多湿への放置により変色を起こすことがあります。

● ご使用状態や保管環境により異なりますが、日々のご使用や長期保管によって劣化し、切れたり、折れたりすることがあります。

■ 皮革バンドについて

- 長時間、他の製品と密着させたり、濡れたまま他の製品と一緒にしておくと、他の製品に色が移行したり、他の製品の色が皮革バンドに移行したりすることがありますので、濡れているときはすぐに柔らかい布などで軽く拭いて、他の製品に密着させたままにしないでください。
- 長時間、直射日光（紫外線）に当てたり、汚れが付着したまま長時間放置すると色あせする場合があります。
  ご注意：皮革バンドは、摩擦・汚れにより色を移したり、色落ちすることがあります。

■ 金属部品について

- 金属は、ステンレスやメッキ品でも汚れたままご使用になりますと、さびが発生することがあります。汗をかいたときや水に濡らしたときは、柔らかい吸湿性の良い布などでよく拭き取った後に、通気性の良い場所に保管し、よく乾燥させてください。
- ときどき、柔らかい歯ブラシに中性洗剤を水で薄めた液や石鹸水をつけて、こすり洗いをしてください。その後、洗剤成分を水でよく洗い流し、柔らかい吸湿性の良い布などで水分を拭き取ってください。なお、洗うときは「調理用ラップを巻く」などして、時計本体に洗剤や石鹸水がかからないようにしてください。

■ 抗菌防臭バンドについて

- 抗菌防臭バンドは汗などによる細菌の増殖を抑え、においの発生を防ぎ、常に清潔で快適な装着感が得られます。抗菌・防臭の効果を上げるために、バンドの汚れ、汗、水分等は吸湿性の良い柔らかい布で拭き取り、常に清潔にしてご使用ください。抗菌防臭バンドは微生物や細菌の増殖を抑えるためのもので、アレルギー等による皮膚のかぶれ等を抑えるものではありません。

■ 液晶表示について

- 液晶表示は、見る方向によって表示が見えにくくなることがあります。

万一、本機使用や故障により生じた損害、逸失利益または第三者からのいかなる請求についても、当社では一切その責任を負えませんのであらかじめご了承ください。

お手入れについて

■ お手入れのしかた

時計も衣類同様、直接身につけるものです。長くお使いいただくために、汚れ・汗・水分などは柔らかい布などでこまめに拭き取り、常に清潔な状態でご使用ください。

- 海水や泥がついた場合は、真水でよく洗い流してください。
- 金属バンドおよび樹脂バンドの金属部品は、柔らかい歯ブラシに中性洗剤を水で薄めた液や石鹸水をつけて、こすり洗いをしてください。その後、洗剤成分を水でよく洗い流し、柔らかい吸湿性の良い布などで水分を拭き取ってください。なお、洗うときは「調理用ラップを巻く」などして、時計本体に洗剤や石鹸水がかからないようにしてください。
- 樹脂バンドは、水で洗い、柔らかい布などで水分を拭き取ってください。また、樹脂バンドの表面にシミのような模様が発生することがありますが、人体および衣類への影響はありません。布などで拭き取ってください。
- 皮革バンドは、水や汗がついた場合には、柔らかい布などで軽く拭いてください。
- りゅうずやボタンや回転ベゼルは、長期間操作しないと動きが悪くなる場合があります。ときどき、りゅうずや回転ベゼルを回したり、ボタンを押したりしてください。

■ お手入れを怠ると

〈さび〉

- 時計で使用している金属はさびにくい性質ですが、汚れによりさびが発生します。
  - 汚れにより酸素が絶たれると、表面の酸化皮膜が維持できなくなり、さびが発生します。
- さびが発生すると、金属部分に鋭利な箇所ができたり、接合部のピンが飛び出したり抜け落ちたりすることがあります。異常に気がついた場合は、ご使用をやめて、修理（有償）を「修理お申込み先」またはお買い上げの販売店にお申し付けください。
- 表面はきれいでも、すきまに付着した汚れやさびがしみ出して、衣類の袖を汚したり、皮膚がかぶれたり、時計の性能が劣化することがあります。

〈劣化〉

- 樹脂バンドや樹脂ベゼルは、汗などの水分で濡れたままにしておいたり、湿気の多い場所に放置すると経年劣化し、切れたり、折れたりすることがあります。

〈かぶれ〉

- 皮膚の弱い方や体調により、かぶれたりすることがあります。特に、皮革バンドや樹脂バンドをお使いの方は、こまめにお手入れをしてください。万一、かぶれた場合には、そのバンドの着用を中止し、皮膚科の専門医にご相談ください。

電池交換について

- 電池交換は必ず「修理お申込み先」またはお買い上げの販売店にお申し付けください。
- 電池は必ず当社指定の専用電池と交換してください。指定以外の電池を使用しますと故障の原因となる場合があります。
- 電池交換の際、防水検査を行います。
- 樹脂（外装）部品は日々のご使用により劣化し、切れたり折れたりする場合があります。電池交換ご依頼品の樹脂部分にひびなどの異常がある場合、破損の恐れがありますので作業を行わずにご返却する旨のご案内をさせていただくことがございます。あらかじめご了承ください。

■ 最初の電池

- お買い上げの時計に組み込まれている電池（モニター用電池）は、工場出荷時点に時計の機能や性能をチェックするために組み込まれたものです。
- お客様がお買い上げになるまでの期間に電池は消耗しますので、モニター用電池は取扱説明書などに記載されている電池寿命に満たない場合があります。また、電池交換は保証期間内でも有料となります。

■ 電池の消耗

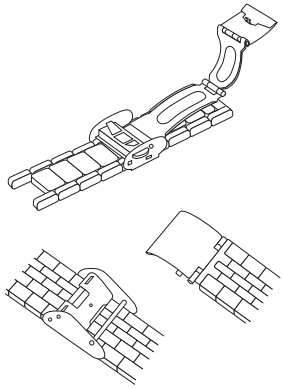
- 電池が消耗しますと「時刻の狂いが目立ったり」「表示が見にくくなったり」「消えたり」します。
- 消耗した電池を使っていると故障の原因になりますので、お早めに交換してください。

金属バンドの駒詰めについて

金属バンド（フリータイプの中留構造バンド※を除く）の駒詰めには専用の工具が必要となります。
お取り扱いによる、部品の変形や破損、またはけが等を予防するためにも、お買い上げの販売店にご相談ください。
なお、「修理お申込み先」においても保証期間内は無償、保証期間経過後は有償にて承っております。
詳しくは、「修理に関するお問合せ先」へお問い合わせください。

※ 中留をスライドさせて長さ調整するフリータイプのバンドでは、駒の取り外しはできません。

（例）



CASIO

カシオ計算機株式会社
〒151-8543
東京都渋谷区本町1-6-2